

平成30年第4回定例会 一般質問

- 1 川越 信男 議員----- P. 1
- 2 感王寺 耕造 議員----- P. 2
- 3 森 正 勝 議員----- P. 3
- 4 川畑 三郎 議員----- P. 4
- 5 梅 木 勇 議員----- P. 5
- 6 篠原 静則 議員----- P. 6
- 7 村山 芳秀 議員----- P. 7
- 8 持留 良一 議員----- P. 8 ~ 10
- 9 北方 貞明 議員----- P. 11
- 10 川尻 達志 議員----- P. 12
- 11 堀添 國尚 議員----- P. 13
- 12 堀内 貴志 議員----- P. 14

1 川越 信男 議員

一問一答方式

1 新庁舎整備について

市長
副市長
関係課長

(1) 設計事業者決定後の住民説明会の総括

(2) 市民ワークショップの開催状況について

(3) 全体スケジュールについて

2 水道事業について

市長
副市長
関係課長

(1) 水道事業や水道施設における現状と課題について

(2) 水道ビジョンを策定する目的について

(3) 事業方針と具体的な計画内容について

3 「たるみず元気プロジェクト（健康チェック）」について

市長
副市長
関係課長

(1) 9月議会以降の進捗状況について

(2) 本年度事業の総括について

(3) 個人情報の管理について

(4) 健康チェックを受けた後のフォローについて

2 感王寺 耕造 議員

一問一答方式

1 南の拠点整備事業について

市 長

副 市 長

関 係 課 長

(1) 宮田屋珈琲店、Farm to Table TARUMIZUの内装工事費は、どこが負担したのか

(2) マルシェの商品構成が少なく感じられるが、これからの充実策は

(3) キッチンスタジオでの商品開発の方向性は

(4) 民間施設の来春完成は、間違いないのか

(5) 今議会で送迎バス購入費を計上しているが、必要ないのでは

(6) 垂水経済同友クラブの提言をどう実行するのか

(7) 国交省施設、民間施設全てが完成してから、フルオープンすべきではなかったのか

2 職員配置とキャリア育成について

市 長

副 市 長

関 係 課 長

(1) 現在の取組状況と今後の考え方は

(2) 環境センター、火葬場、国土調査係等、今後の職員体制について

3 教諭の超過勤務について

市 長

副 市 長

教 育 長

関 係 課 長

(1) 超過勤務の現状は

(2) 今後の業務改善の方策は

3 森 正勝 議員

一問一答方式

1 障害者雇用問題について

市 長

副 市 長

- (1) 市町村の法定雇用率は2.5となっている。垂水市の障害者雇用の状況と他市町村の状況はどうなのか

関 係 課 長

2 危険塀撤去助成について

市 長

副 市 長

- (1) 9月議会でブロック塀等の危険箇所について質問した。その後、鹿児島市が安全性に問題があるブロック塀の撤去費用の半額（最大20万円）を助成する制度の受付を始めている。県内自治体では、和泊町に続き2例目である。垂水市も地域の安全を守り、子どもたちの通学の安全を守る役割と責任があるはずである。助成制度の導入はできないか。見解を

関 係 課 長

3 牛根境蔵置川と小田川の砂防の土石と流木について

市 長

副 市 長

- (1) 蔵置川と小田川の砂防の土石と倒木が未だに堆積したままの状態である。早急な対策が必要と思うが、現状の説明を

関 係 課 長

4 川畑 三郎 議員

一問一答方式

1 台風や梅雨等での各地区で発生した災害について

市 長

副 市 長

(1) 災害箇所及び対応はどうだったのか

関 係 課 長

2 漁業振興について

市 長

副 市 長

(1) 垂水市には垂水市漁協、牛根漁協と二つの漁業協同組合が存在し、各漁協より様々な支援等の願いがあると考えられるが、どのように対処しているのか。また、これまでの両漁協への支援についての状況は

関 係 課 長

5 梅木 勇 議員

一問一答方式

1 廃校中学校について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) 跡地について、これまでどのように検討・対応がなされてきたのか
- (2) 今後どのように考えているか
- (3) 利活用に向けた地域住民の声を聞く必要はないか

2 ふるさと納税について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) 今年度、これまでの寄付状況と歳入予算額の達成見込みについて
- (2) 返礼品の状況について
- (3) 地場産返礼品の新たな拡充が必要ではないか

3 新規農作物について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) ミシマサイコ等のこれまでの栽培状況について
- (2) 出荷方法等、先進地等の調査は行われているか
- (3) これまでの栽培を検証して普及の可能性は

6 篠原 静則 議員

一問一答方式

1 小学校の環境整備について

市 長

副 市 長

(1) 柘原小学校の更衣室について

教 育 長

関 係 課 長

2 農政について

市 長

副 市 長

(1) 堆肥センターについて

関 係 課 長

(2) 災害復旧について

(3) 林業について

3 福祉行政について

市 長

副 市 長

(1) 高齢者を介護している家族への福祉等の充実について

関 係 課 長

4 消防行政について

市 長

副 市 長

(1) 消防庁舎建設について

関 係 課 長

(2) 消防広域化について

(3) 各分団の消防車乗務について

7 村山 芳秀 議員

一問一答方式

1 新庁舎建設計画について

市 長

副 市 長

関 係 課 長

(1) 新庁舎建設計画の規模の妥当性について

ア 駐車場台数について、人口76,000人設定の始良市庁舎の窓口来庁者は、1日29台必要。

人口14,374人設定の垂水市の窓口来庁者は、33台が必要と人口が数倍も多い始良市を上回るのはなぜか

イ 他市の計画に比べ異常に多い数の新庁舎建設計画の職員数（250人）の算定について

ウ 市税の減収、急速な人口減が予想される中（27年後は、総人口6,993人）で、庁舎規模についてコンパクトな庁舎を求める声が多い。計画の将来人口（14,373人）との乖離が不信感に繋がっている。規模の妥当性について

(2) 新庁舎の防災センターとしての役割について

ア 市民の声は、海側の庁舎位置についてこれから50年先までの不安は解消されていない。地震、津波、塩害、高潮、台風と市庁舎へのアクセスを指摘する声が多い。防災センターとしての役割を担えるのか

8 持留 良一 議員

一問一答方式

1 漁業法の改正問題について

市 長

～地場産業の振興と持続可能な地域づくりのために

副 市 長

関 係 課 長

(1) 戦後の漁業制度を根本からひっくり返す重大な法案に対する考え方と対応について問う

ア 有効に機能している制度で困っていることがあるのか（漁業権・海区漁業調整委員会）

イ 現在のルールでも、企業は漁協の組合員として沿岸漁業に参入することは可能であると認識しているが問題ないか。近隣で事例はあるか

ウ 現漁業法の根幹を変えてしまうようなことは許されない。漁業政策は、小規模沿岸漁業を中心に据えるべきものであり、地元から漁業権を奪い企業に明け渡すことは許されない。漁業の今後の振興のためにも、意見表明すべきではないか

2 国保事業問題について

市 長

～自治体が国保を支える問題について

副 市 長

関 係 課 長

(1) 払える保険税、いつでも・誰でも受けられる医療制度に

ア 国保税の負担は「重い」という点について、市町村国保が抱える構造的課題であると再認識したい。見解は

イ 国保税の負担がより重たくなると加入者の生活が圧迫され、国保が貧困状態を深化させる事態を招く懸念がさらに広がることが予想される。払える国保税にしていくために地方自治の趣旨（住民の命と暮らしを守る）から自治体として制度を支える義務が引き続き求められていると考えるが見解を（法定外繰入れの独自負担は、これまで本来、国庫負担で対応すべき額を自治体が補完ないし代替してきたものとする）と考える）

3 傾斜地における土木工事について
～平成28年の台風災害対策

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 田上地区振興会の要望は、早急な対策が必要ではないか

ア 早急に行える対策がないとの回答であるが、課題は何か

イ このままでは「公共安全」を確保できないと考える。そのため、早急な対策が求められていると考えるが改めて見解を

4 地方公務員法等の「改正」の問題について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

～現職員を失業させない、職を守っていく、賃金や処遇を下げさせないというのが法改正の趣旨であり、国会審議での確認

(1) 臨時・非常勤職員の改善

～マニュアルが求めているのは、住民のための行政サービスを安定的に行ううえで必要な待遇の確保である

ア 臨時・非常勤職員の実態の把握ができていないか（会計年度任用職員制度導入へ向けた事務処理のマニュアルの取組状況から）。来年度の採用に間に合うのか。課題は何か

イ 臨時・非常勤職員の位置付けと法の趣旨の理解は「臨時・非正規職員は、地方行政の重要な担い手である。法改正により任用の適正化、処遇改善に向け、まず一步を踏み出せばありがたい」と答弁（2017年5月11日総務大臣）
「雇止めや処遇を引き下げることが、法改正の趣旨に似合わない」（2017年5月11日総務大臣）

ウ 待遇改善の取組みの必要性は

～地公法は、行政サービスの安定と質を確保するため「公務は、任期の定めのない常勤職員が中心となって担うという「無期限任用の原則」を持っている

「常勤職員と同様の業務を行う職が存在することが判明した場合には、臨時・非常勤制度ではなく、常勤職員として登用する必要があると考えている。マニュアルなどに記載して、各地方自治体に助言していく」

(総務大臣答弁)

継続性と専門性が求められる職である図書館司書や公民館主事等(常勤を要する職種と考える)への見解は

5 新庁舎建設問題について

～住民と共に進む取組みを目指して

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 地方自治法第4条(事務所の設置又は変更)が問うていることは何か。事務的手続きか、移転地を問う手続きか

ア 既に庁舎建設は議会が設計予算を議決しているため、建設ゴーサインが出ているとの認識で、計画的に進めているという理解になるのか

イ 事務所の位置の変更に関する条例改正の制定時期は、建設着工前にするか完了後にするかは市町村の事情によっていずれも差し支えないとなっている。
本市は、庁舎移転後に合わせて条例の提案を想定していると考えを示されているが、どのような考えからか

9 北方 貞明 議員

一問一答方式

1 垂水小学校の古井戸について

市 長

副 市 長

- (1) 小学校正面玄関に、古井戸が放置されているが、教育上どのような指導がなされてきたか

教 育 長

関 係 課 長

2 災害備蓄について

市 長

副 市 長

- (1) 幼児のアレルギー対策備蓄は、どのようになっているか

関 係 課 長

3 新庁舎について

市 長

副 市 長

- (1) 安全性について

関 係 課 長

- (2) 移転した場合、中心部の人の流れが変わると予想されるが、跡地対策を考えているのか

- (3) 事業費は、現在想定37億円だが変動をどれぐらい見込んでいるか

4 「道の駅たるみずはまびら」について

市 長

副 市 長

- (1) 最大の協力者である地権者がなぜオープン式典に参加されなかったのか

関 係 課 長

10 川尻 達志 議員

一問一答方式

1 「道の駅たるみずはまびら」について

市 長

副 市 長

- (1) 開業から2週間を経過して、課題は何か見えてきたか
(良い所、悪い所)

関 係 課 長

2 水道事業について

市 長

副 市 長

- (1) 全国自治体の水道事業が危機に瀕し、合併の話が出て
いるが状況は

関 係 課 長

- (2) 本市の合併は可能か

- (3) 給水人口の減少が続く中、新規事業ができない状況で
あるが大丈夫か

3 高齢者対策について

市 長

副 市 長

- (1) 高齢者を巡る環境が大きく変わっているが、その状況
について

関 係 課 長

- (2) 本市も大きく人口の減少が続くが、財源は大丈夫か

11 堀添 國尚 議員

一問一答方式

1 市内の美化について

市 長

副 市 長

- (1) 幹部派出所前の信号機角の廃屋及び雑木等の除去の進み具合は

関 係 課 長

2 横断歩道について

市 長

副 市 長

- (1) 市内横断歩道の道路標示があちらこちら見えにくくなっている。改善に取り組む必要性を感じるが

関 係 課 長

3 新庁舎について

市 長

副 市 長

- (1) 弱者（障害者、高齢者、身体の不自由な人）に対して、どのようにして利便性を考えているか

関 係 課 長

12 堀内 貴志 議員

一問一答方式

- | | | |
|-----|--|-------------------------|
| 1 | 新庁舎建設に伴う不安の解消について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 安全性の再確認
～津波や浸水被害、液状化対策の不安解消について | |
| (2) | 塩害対策のための構造について | |
| (3) | 建設規模の妥当性と跡地利用について | |
| (4) | 新庁舎を活用したまちづくりについて | |
| 2 | たるみず元気プロジェクトの効果と検証について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | たるみず元気プロジェクト実施の意義と重要性について | |
| (2) | 単年度（短期間）の成果について | |
| (3) | たるみず元気プロジェクトの今後の方向性について | |
| (4) | 健康長寿のため温泉事業を活かした取組はできないか | |
| 3 | 3箇所観光拠点の相互連携の在り方について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 「道の駅たるみずはまびら（たるたるぱあく）」の来場者数と市内における効果について | |
| (2) | 「森の駅たるみず」の今後の管理運営について | |
| (3) | 3箇所の観光拠点の連携をどのように図っていくか | |
| 4 | 今後の垂水市について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |